

# ■州都広島の大設計 (12の代表プロジェクトを提案)

広島と周辺地域が一体となって、競争力のある元気な地域づくりを通じて、豊かさと幸せを実感しながら、私達の地域に「誇りと愛着」を育み、日本中そして世界中が憧れる街、「理想の都(みやこ)」を目指します。

**⑨ 都市と中山間地域の交流圏**  
(食糧供給、環境、防災、観光の多面的な価値再生を)

**⑪ 浜田港の外港化**  
(成長著しい中・朝・口への州都広島の日本海側の外港拠点として支援強化)

**⑩ 中国横断道の促進**  
(広島の南北軸、山陰中枢への速達アクセス、現在事業中の松江尾道線の早期供用を)

**① 現球場跡地に中四国の芸術文化拠点**  
(オペラハウス、屋外イベントステージなどに活用を)

**⑧ 瀬戸内海の海生リゾート交流圏**  
(長寿と癒しの美空間を、世界が憧れるエリアに)

**⑥ 出島埠頭の強化**  
(中四国の国際物流基地+メセコン機能の強化を)

**④ 新たな都心づくり**  
(駅周辺の開発プロジェクトの整備促進、新球場、B・Cブロック、若草、二葉の里の早期完成を)

**③ 世界平和の活動拠点**  
(世界の平和に貢献・主導する活動拠点に、平和の産業化、広島のメリットを中四国で共有を)

**⑫ 広島松山ルート促進**  
(広島の南北軸、四国への速達アクセスは必ず要る、まずは出島～江田島架橋の調査再開を)

**② 州立大学の創設**  
(国公立大を州立大学に整理・統合、知の拠点機能=州経営のシンクタンクを確立を)

**⑤ 二都心アクセス強化**  
(在来の都心+新たな都心+新球場をLRTで直結を)

**⑦ 西飛行場の活用**  
(州都便のエアコミューター専用空港として活用を)

**⑦ 西飛行場の活用**  
(州都便のエアコミューター専用空港として活用を)

**事務所案内マップ**

**■問合せ 連絡先**  
〒732-0042 広島市中区国泰寺町1丁目7-24 国泰寺ビル203  
**NPO法人 州都広島を実現する会**  
代表 碓井法明、事務局長 野村吉春  
TEL 082-504-9191 FAX 082-504-9192  
ホームページ <http://shutohiroshima.web.fc2.com/>  
e-mail [npo-sh@ms11.megaegg.ne.jp](mailto:npo-sh@ms11.megaegg.ne.jp)

# 州都広島ニュース 特別号

## ひろしま百年の大計 挑戦! 「州都広島の実現」

**国際会議の誘致**

**地産地消の促進**

**中古車輸出で浜田港が活況**

**山陰への速達アクセス**

**農業の再生**

**水緑の環境保全**

**新球場のオープン**

**瀬戸内・海生都市**

**出島埠頭の国際コンテナ**

**四国への速達アクセス**

**州都誘致事務所の開設**

……<州都広島の目標>……

- ★広島と地域全体に、豊かさと幸せの繁栄を築こう
- ★中央から自立し、世界とつながる「道州制」を目指そう
- ★「州都広島」で、地域全体のリーダーシップを担おう
- ★「州都広島」の実現に向けて、「熱気の渦を」つくろう

市議会で州都広島の実現を熱く訴え続ける碓井法明代表

# なぜ道州制か？

( →日本中どこでも元気、地域が夢を育む希望の国への転換を！ )

●**国と地方の衰退** 私達は様々な将来不安に直面しています。今のままでは、地方に未来はありません。国も衰え、既に経済では世界の一流国ではなくなりました。急速な少子高齢化、地域格差の拡大、地方圏の人口流出、山林や田畑の荒廃、食糧自給率の低下、医療や年金、行財政の赤字…と問題が山積しています。

●**国の形を変える** 何れも中央政府にお任せでは解決しません。この国の形を抜本的に変えなければなりません。従来の中央への依存を改め、もっと身近な住民の目に届く場所で、地域の実情や民意を反映した政策展開が求められます。

●**希望へのチェンジ** 中央から地方へ権限・財源・人材を移譲し、政策の責任分担を明確にし、地方政府が自立的に問題解決する仕組みに変える必要があります。つまり、国と地方の究極の行政改革、「道州制」への移行で、「日本中どこでも元気」「地域が夢を育む希望の国への転換」が必要です。

# なぜ州都広島か？

( →広島と周辺地域に豊かで幸せの繁栄を築こう！ )

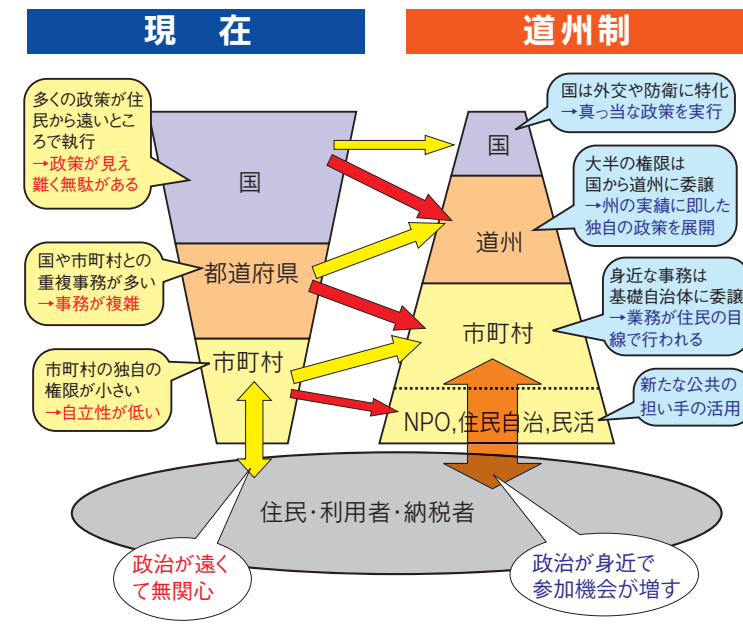
●**過去の成功体験** 広島市は、戦前・戦後にわたる国策的な支援と恩恵を享受し、周辺地域へのサービスを欠いてきたと指摘されます。道州制に向けて、何もしなくても「州都は広島で決まり」という思い込みがあります。過去の成功体験に甘えた州都広島では、とうてい地域の善政競争や、国際間の経済競争に打ち勝つことはできません。

●**中四国の衰退** 中四国地域は全国に先駆けて人口減少に転じ、2020年には更に約100万人の減少が予測され、周辺地域から人影が絶えるなかで広島市の単独繁栄は有り得ないばかりか、問題は広島市の人口引止め(=ダム効果)が小さいために、この地域の衰退が加速しているのです。

●**広島のリーダーシップ** 広島市は、地域間・国際間の大競争時代に、本市の繁栄だけでなく、地域共生型のリーダーシップを発揮し、「地域全体の繁栄への重責」を担う必要があります。つまり、「州都広島の実現」とは「広島と周辺地域に豊かで幸せの繁栄を築こう！」という宣言なのです。

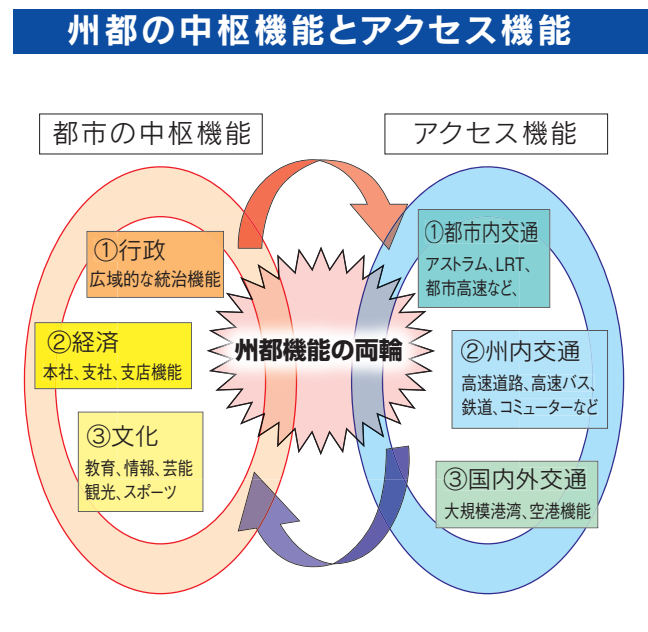
## ●国と道州、市町村の役割分担は？

国は外交や防衛に特化し、地域の政策は道州に、身近な業務は市町村に委譲され、新たにNPO、自治組織、民活導入でサポートします。住民から遠い政治が、住民の目えるところで行われ、地域主権型政治に変わります。その結果、無駄が排除され、住民や利用者本位の効率的な行政が生まれます。



## ●州都に必要な条件とは？

州都に選ばれるには、①都市の魅力形成する「中枢機能の充実」と、②アクセス機能としての「交通体系の充実」が必要です。早期に州都広島のグランドデザインと、実現化へのスケジュールを示し、継続的に高めていく過程が、州都広島の選択につながります



# 道州制へのステップは？

( →いよいよジャンプすべき時が到来した！ )

2008年は、政府や経済界から中間報告があいつぎ提出。ホップ、ステップを経て、この次は大きな「ジャンプ」を期待。ジャンプに必要なのは「**国民的な高まり**」と「**国の政治決断**」。



道州制ビジョン懇談会が掲げているスケジュール

年次	政策目標
2008年 ▼	・道州制ビジョン懇談会・中間報告の提出 ・「道州制基本法」の原案づくりに着手
2010年 ▼	・区割り基本方針専門委員会 ・税財政等検討専門委員会
2011年 ▼	・「道州制基本法」の国会提出 ・内閣に「道州制諮問会議」を設置 ・支援機関「道州制推進会議」を設置
2018年 ▼	・地域主権型道州制への完全移行 ・全国一律が望ましい

## ★★★★ 州都広島の7つの夢 ★★★★★



**①広島で考え決め行う！**  
道州制では、広島のことばは広島の財布で、広島のことを知っている私達が考え・決め・行います。地域が望む事業を、私達の責任で対応すれば、地域に愛着が湧き、「郷土を愛するところ」が育ちます。



**①世界平和を主導する！**  
世界が期待する「ヒロシマの平和外交」を果します。「ヒロシマの行動」を州が支え、そのメリットを州全体で分かち合うダイナミックな「平和貢献のプラットフォーム」を用意します。

**②東京発から広島発へ！**  
州都広島の実現で、政治・経済・文化・情報の発想・発信が東京から広島に変わります。広島独自の芸能・音楽・スポーツが興隆し、TV、新聞、雑誌も「広島主体のメディア」へと楽しく変わります。



**⑥アジアと共に豊か！**  
道州制時代は道州とアジア都市間の交流へとシフトします。広島港の外貿コンテナ機能や広島空港のハブ機能を強化します。また、浜田港を州都広島の日本海側の外港拠点として支援し、国際物流の進展を図ります。

**③地域が元気になる！**  
政府の規制や援助がなくなり、中央にお土産を持って拝金を乞う手法が消え、州のヒト・モノ・カネの流出を押さえ、内部経済の循環を通じて、「私達の手で豊かさを勝ち取る」という「自主・自立の精神」が根付きます。



**④個性が輝く地域へ！**  
国の一律規制や助成制度が消えると、全国何処でも、同じ品物が並ぶ金太郎飴主義から、地域が生き残りをかけて魅力を競い、「個性の輝く地域」が誕生し、「重層で多様な国土」へと変わります。



**⑤広島と田舎が共に幸せ！**  
田舎に新たな価値を導入し、都市と田舎の共存関係を確立。食料自給率、美味しい水、環境保全、防災機能、健康と癒し…を通じて、中国山地や瀬戸内の資産価値を高め、州都広島が誇るべき強みに変えます。